高校生まちづくりスクールミーティング

～ Instagram で小牧市の魅力発信してみませんか？ ～

実施報告書

概要

日時・場所

令和６年１１月１１日（月）午後４時～午後６時

誉高等学校

参加者

誉高校の生徒の皆さん　１３名（うち当日参加７名）、

ファシリテーター：

名古屋大学 浦田研究室　伊藤　詩織さん、中村　淑乃さん、山崎　稜太さん

アドバイザー：名古屋大学　浦田　真由 准教授

主催

小牧市

市長あいさつ

みなさんこんにちは。

今日は、誉高校の生徒のみなさんに、お集まりいただきました。

今回のスクールミーティングは、Instagram を使って小牧市の魅力発信ということで、これまでのスクールミーティングとは少し趣向を変えた企画となっており、名古屋大学の浦田研究室の浦田先生とその研究生のみなさんにも協力をいただいて開催させていただくものです。

まちづくりには、さまざまな参加の形があります。行政だけではなく、地域の方々や企業、学生、市民団体、ボランティアなどいろいろな人たちが協力して、より良いまちをつくっていこうと考えながら、まちづくりに参加していただいています。普段、意識していなくても、みなさんも身近な活動でまちづくりに関わっています。

本日は、高校生のみなさんの感性と柔軟な発想で小牧市の魅力発信の動画を作成していただけることを楽しみにしています。

ぜひ、充実した時間にしてもらえればと思います。

Instagram に関するミニ講座（名古屋大学 浦田研究室　伊藤さん）

本日のスクールミーティングでは、「高校生のみなさんに小牧の新しい魅力を発見したり、再確認してもらうこと」「Instagram を使って小牧の魅力を発信してもらうこと」という２つの目的で Instagram について説明をします。

まず、Instagram は、写真・動画共有 SNS で、人気が高く、お店の魅力や地域の良さを知ってもらうことに向いている SNS です。その理由は、写真や動画に特化しており、ビジュアルで情報収集ができること、短い時間で多くの情報を得られることなどが挙げられます。また、Instagram は SNS の中で、上から４番目の利用率になっており、自分で情報を発信するタイプの SNS の中では、非常に人気が高いといえます。

Instagram でやってはいけないこととして、「人の写真や動画をダウンロードして投稿してはいけない」「アイコン写真に芸能人やアニメの写真を使用してはいけない」「雑誌の表紙を撮影して載せてはいけない」「撮影対象の人物が特定できる写真を載せてはいけない」があります。また、Instagram に関わらず、SNS を利用するときは、先生に見られても大丈夫な内容にするということを意識しましょう。

Instagram の投稿方法に、今回作成するリールがあります。リールの特徴は、全画面表示できる動画で、人気が高く、フォロワー以外に一番見てもらいやすい投稿方法となっています。

リール動画作成

高校生のみなさんに、事前にグループごとで撮影してもらった写真や動画を使って、グループのテーマに沿ったリール動画を作成します。

【テーマ】

- 小牧のグルメ
- おでかけにオススメのスポット（アウトドア系）
- おでかけにオススメのスポット（インドア系）

発表（A グループ）

テーマ「おでかけにオススメのスポット（アウトドア系）」

A グループは、小牧市で育った高校生が、子どもに戻って久しぶりに遊びたくなる場所を撮影スポットとして選び撮影をしました。

1 カ所目の「桃花台中央公園」は、富士山の滑り台やターザンロープ、長い滑り台などの遊具があり、高校生でもはしゃげる楽しい場所です。2 カ所目の「小牧山歴史館」は、小牧のシンボルでもあり、山の中腹には公園があり、山頂まで上がると市内を一望できます。3 カ所目の「尾張広域緑道フレッシュパーク」は、さまざまな自転車があり、子どもから大人まで楽しめて、展望台からは誉高校が見えます。このように小牧市には、大小さまざまな公園があり、自分のお気に入りの場所を探してみてはいかがでしょうか。

動画作成で工夫したポイントは、文字のフォントを見やすくしたり、導入から音声の読み上げ機能を使ったり、音声のタイミングなどです。

◎市長コメント

いろいろな場所をテンポよく紹介して魅力が伝わる動画でした。読み上げ機能も含めて軽快な感じで見やすい動画で良かったと思います。あまり多くの人が知らない場所をみなさんが PR してくれると嬉しいですね。

発表（B グループ）

テーマ「小牧のグルメ」

B グループは、小牧のグルメ PR 動画を作成しました。

1 カ所目は、小牧市民で知らない人はいないたこ焼き屋の「ほていや」で、お店で焼きたてを食べているところを撮影しました。2 か所目は、フルーツ専門店の「ヤオカネ」で、たくさんの果物のほかにジェラートもあり、撮影ではグループのみんなでジェラートで乾杯しました。3 カ所目は、しるこサンドが販売されている「シルコッテ」で、店内には飲食スペースやオシャレなお土産がたくさんありました。

動画を作成してみて、小牧市には、まだ知らない素敵なグルメがたくさんあって、普段当たり前に通り過ぎているお店もこれからは何のお店か興味を持っていきたいなと思いました。

◎市長コメント

動画の始まりを工夫しているなと感じました。先生に聞いて初めて知ったというお店もあったということで、高校生の皆さんにはそういった場所もぜひ SNS で積極的に発信してもらいたいので、ぜひお願いします。

発表（C グループ）

テーマ「おでかけにオススメのスポット（インドア系）」

C グループは、市内のインドア魅力スポットの動画を作成しました。

1 カ所目の「中央図書館」は、広くて清潔な空間で落ち着くことで勉強が捗ります。小牧駅から近く、イベントもありわくわくする場所です。2 か所目の「こども未来館」は、よく学校帰りに行こうと話に出て、撮影のときも偶然、誉高校の友達に遭遇するなど高校生も利用しています。3 カ所目の「小牧山歴史館」は、撮影のときに散歩している方と挨拶をしたりするなどと地域の繋がりを感じました。

動画を作成し、改めて小牧市を見てみると 1 分 30 秒では収まりきらないほど魅力があると感じました。動画作成スキルを上げて、小牧市を PR する動画を作成したいと思いました。

◎市長コメント

動画内の小牧駅から歩いて図書館に向かっている様子は、距離感が分かったり、臨場感が伝わったりするなと感じました。あと、図書館内のアングルが良かったですね。これからさらに小牧の動画を撮って、魅力発信してくれることを期待しています。

市長講評

みなさんお疲れ様でした。

本日の発表を聞いて、これからも高校生のみなさんが小牧のことについて PR していただけると嬉しいなと改めて思いました。

ただ、高校生のみなさんにとって、身近で慣れ親しんだ SNS には、利便性もある一方で、危険性もあります。

例えば、SNS などで同じような情報を見ているとそれと似たようなおすすめが表示される「フィルターバブル」という仕組みがあります。これにより、新たな情報や多様な価値観に触れなくなってしまう危険性があります。また、何度も自分と同じ意見ばかリを見ることで、それが正しいことだと強く思い込み、偏った意見や考え方になってしまう恐れもあり、事実に基づかない情報によって判断を左右されてしまう危険性が非常に高まっています。

情報社会の中で、いかに目を開いて、さまざまな情報を取捨選択し、正しい判断をすることを、今のうちから考えることが大事だと思います。

行政としても、みなさんのような若い世代と連携しながら、小牧市のより良い地域づくりのために SNS を活用していけたらと思います。

本日は、本当にありがとうございました。

参加していただいた生徒の皆さん

中野　楓　　さん	仲井　悠人　　さん
松田　悠斗　　さん	宮澤　颯　　さん
橋本　和歌音　さん	鈴木　佑汰　　さん
新田　晏己　　さん	岡原　唯純　　さん
時田　愛理　　さん	赤谷　颯馬　　さん
遠藤　大輝　　さん	山口　拓斗　　さん
中村　漸　　さん	

当日の様子と各グループが作成したリール動画は

こちらから ▶